

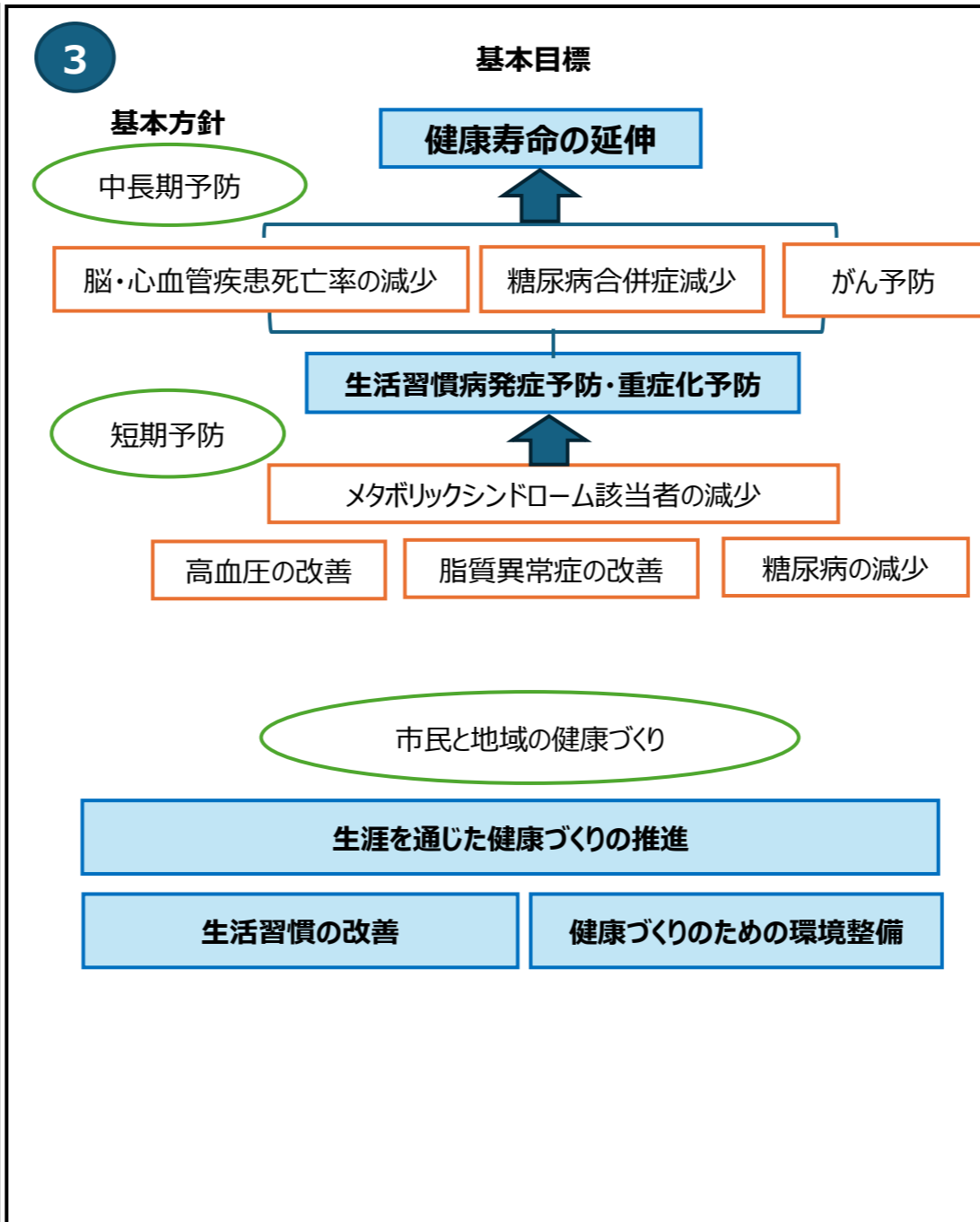


野々市市健康増進計画（第三次） R6～R17

概要版

基本理念：市民一人ひとりが健やかで心豊かに暮らせるまち ののいち

2 健康課題	平均寿命：男性82.5歳（県内1位） R2 女性88.5歳（県内2位）
ライフステージ	
高齢者	死因：1位がん、2位心疾患、3位脳血管疾患（R3） 介護：要介護認定者は国や県の割合より低い、年々増加 医療：後期高齢者一人当たり医療費（県内4位：R2）入院医療費が高い。脳血管疾患の割合が国・県より高い。
成人	健診：特定健診受診率47.6%（県内7位：R3） 特定保健指導実施率66.2%（県内6位：R3） 腹囲、中性脂肪、HDLコレステロール、HbA1c（糖）、GPT（脂肪肝）の有所見者が国・県より高い（R3）、メタボリックシンドローム該当者も増加 HbA1c6.5%以上（糖尿病）割合増加（H23:9.2%→R4:11.5%） 市健診受診20代～40代の男女の朝食欠食率3割超えている（R4）
小・中学生	小学5年：男7.9%、女4.2%（R4）肥満割合増加 中学2年：男6.5%、女4.3%（R4）軽度肥満割合が国・県より高い。
乳幼児	3歳の肥満3.9%増加傾向。生活リズム：22時以降の就寝24.6%、8時以降の起床5.8%（R3）県より多い。 低出生体重児(2,500g未満) 出生割合：10.1%、国・県より
妊産婦	妊婦186人調べの朝食欠食率20代15.2%、30代7.5%



4 施策の方針	
生活習慣病の発症予防と重症化予防	生活習慣の改善等により、多くが予防可能であるがん・循環器疾患・糖尿病等の生活習慣病の発症予防（早期発見）、重症化予防に重点を置いた取組みを推進する。
1.がん 2.循環器疾患 3.糖尿病	
生活習慣の改善	健康づくりのためには、個人の行動と健康状態の改善は重要であり、そのため、生活習慣病の予防に加え、生活機能の維持・向上の観点も踏まえた取組みを推進する。
1.栄養・食生活 2.身体活動・運動 3.休養・睡眠・こころ 4.飲酒 5.喫煙 6.歯・口腔	
生涯を通じた健康づくりの推進	健康課題や取り巻く状況は乳幼児から高齢期までのライフステージ毎に異なっており、ライフコースアプローチを踏まえた取組みを推進する。
1.こども 2.女性 3.高齢者	
健康づくりのための環境整備	健康づくりに取り組みやすくなるよう、個人だけでなく社会全体で健康を支え、守るための環境整備を推進する。
1.民間団体・企業との連携 2.健康増進を担う人材育成 3.自然に健康になれる環境づくりの推進 4.ICTを活用した健康づくりの推進	

